

学年	高校 3	教科	公民	科目	政治・経済演習	単位数	3
教科書名	詳述政治・経済 (実教出版)			副教材名	2023 ブームアップ政治・経済資料 政治・経済用語集 20日完成 スピードマスター政治・経済問題集		
コース・クラス	中高一貫文系・理系						

I. 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テスト8割、大学入学共通テスト7割突破を目指し、難関大学合格に向けて模擬試験や入試問題に対応できる実力を養う。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につけさせる。
3. 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究させる。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

II. 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考えさせる。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につけさせる。
3. 進路目標に即した問題演習を行い、大学入試共通テストなど受験に対応できる学力を育む。

III. 授業の進め方

1. 毎時間、冒頭に時事問題を取扱い、世の中の動きをつかませる。
2. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
3. DVDや図表を効果的に活用し、視覚から理解を深めさせる。主権者教育はAL方式で行い、より実効性のあるものとする。
4. 小テストを実施し理解度を確認すると共に、単元ごとに大学入試共通テストレベルの問題を解かせる。

IV. 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を授業に盛り込む。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚えさせる。
3. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけさせる。

V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 政治分野 (民主政治の基本原理)
- 1学期 期末試験 : 政治分野 (日本国憲法の基本的性格)
- 2学期 期末試験 : 政治分野 (日本の政治機構、現代日本の政治)・国際社会の諸課題の探究

VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標	
一学期	4	第1部 第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原理 1. 政治と法	小テスト 中間試験	・政治、法、人権等の基本的意義及び成立の歴史的背景を理解する。これらが、世界の政治制度の中でどのように展開されているか、時事問題とも絡めて考察する。	
	5	2. 民主政治と人権保障の発展 3. 国民主権と民主主義の発展 4. 世界の政治制度			
	6	第2章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立	課題提出 小テスト 期末試験	・日本国憲法の成立、平和主義、人権保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。安保体制に関する問題は難易度が高いが、時代ごとの解釈の変化をしっかりと把握する。	
	7	2. 平和主義 3. 基本的人権の保障 4. 人権のひろがり			
二学期	9	第3章 日本の政治機構 1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治	小テスト	・国会、内閣、裁判所、地方行政の仕組みを学習し、民主主義がどのように実現されているか、現代社会の課題とともに理解する。	
	10	第4章 現代日本の政治 1. 戦後政治の歩み 2. 選挙制度 3. 政治参加と世論		・政党と選挙、行政機能の優位、世論の役割について学習し、日本の政治が抱える問題について考える。有権者として、投票することの意義や責任を理解し、主体的に政治に参加する意識を身につける。	
	11	第3章 国際社会の諸課題の探究 1. 紛争の解決に向けた国際社会の取り組み		課題提出 小テスト 期末試験	・国際社会に存在する諸課題に対して、グローバルな視点を持って解決策を構築する。小論文やディベートを通して、自分の考えを表現する力も養う。
	12	2. グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容 3. イノベーションと成長市場 4. 地球環境と資源・エネルギー問題 5. 国際経済格差の是正と国際協力 6. 持続可能な国際社会づくり			

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。